

日本性科学会 ニュース

第17巻第1号

平成10年(1998年)3月

発行人: 野末 源一 印刷所: 絢文社

第27回 性治療研修会

場 所 山之内製薬株式会社2階ホール(東京中央区JR新日本橋駅)

日 時 平成10年4月26日(日)

プログラム

9:30	開会の挨拶	日本性科学会理事長	野末 源一
9:35	思春期性相談の最新情報	千葉大学教育学部教授	武田 敏
	スクール・カウンセラー(SC)とピア・カウンセラー(PC)		
10:35	性同一性障害の理解をめざして	東京女子大学現代文化部講師	山中 京子
	午後のテーマ トランスセクシュアル		
1:15	定義と諸外国の現状	お茶の水女子大学大学院博士課程	東 優子
2:15	日本の現状と精神的サポート	あべメンタルクリニック院長	阿部 輝夫
3:30	手術と現状	埼玉医科大学総合医療センター教授	原 科孝雄
4:30	閉会の挨拶	日本性科学会副理事長	長田 尚夫

この研修会への参加は、セックス・カウンセラー、セックス・セラピストの資格認定および更新の単位になります。

Vol. 17

No.
1

日本性科学会

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館3F

長谷クリニック内

TEL 03(3475)1780 FAX 03(3475)1789

思春期の症例

— 食と性の関連性 —

日本性科学会カウンセリング室 渡辺 景子

〈はじめに〉

筆者は長年、大人の性治療と子どもの心理治療に携わってきたが、この中で食と性の関連性について感じさせられることが多い。

今回筆者は、思春期のケースを通してその関連性について考えてみた。

〈ケースの紹介〉

A子は16歳で、高校1年生の女子。高校に入学した夏テクラへ電話をし、そこで知り合った男性二人と性関係もち妊娠した。妊娠7ヶ月までは誰にもいえず、又誰にも知られずにきた。しかし身体的変化や不安が徐々に強まる中隠しきれなくなり、A子はようやく母に、“死ぬ程の不安”を手紙で打ち明けた。

母は、これまでのA子の“しっかり者”とのイメージからは考えられないこととショックを受け、A子とともに相談に訪れた。

初回面接時のA子は、極度の不安とは裏腹にふわっとにこやかな表情であるのが、筆者には印象的だった。A子の身体つきは、服装の為もありお腹が特に目立つ程ではないが、全体的にふっくらとしていた。

治療者が、セックス・妊娠に至ったいきさつについて尋ねると、A子は次のように語った。「何かしら淋しくて、初めてテクラへ電話をした。すぐに会うことになり、そのまま何となくセックスをした。セックス後は、“こんなものか”と自分を捨てている感じで、相手の顔や名前も覚えていない。ただし、やさしそうな感じは残っており、誰かにすがりたかったのかもしれない」と。この後A子は引き続き来所を希望し、出産後9ヶ月まで計16回の面接が継続された。

面接初期の頃A子は、生まれてくる子供をどうしたらよいか、学校を退学するかどうか、友達にはどう伝えるか等様々な事を悩み、精神的疲れがとれないと訴えた。治療者はこれらを含め、共に考えていこうと伝えた。このような中でA子は、テクラへ行く前の自分の行動について、又父母のこと・自分自身のことについて、徐々にかつ繰り返し語った。

それによるとA子は、高校入学後まもなく、水泳部の練習中水が恐くなり、又夜はひとりでいることが恐くなったという、食事は過食気味となり、次第にお菓子などをお腹がいっぱいになるまで食べ、又食べ始めるととまらなくなったという。このような食行動は、中学生の頃からストレスが強まった際に、何回か繰り返されてきた。母についてA子は「私が子供の頃から母は、迷惑をかけない私より、あれこれと問題をおこす兄の方へ関心を向けていた」と語った。又A子にとっての母は「真面目で静かだが、自分の意を通したいところでは必ず通す人」と映っており、母の引かぬ強さを強調した。それでもA子は何度か小さな抵抗を試みたが、母の沈黙にあい諦めた。一方父については「怒られたことはないがほめられたこともなく、どれ位の愛情を注いでくれているのか分からなかった」と述べた。

A子は自分自身について、次のように語った。「小さい頃よりしっかりしなくてはと思い、中学時には明確な目標を見つけたと思った。しかし焦りのみが強く流され、高校入学後も勉強等に身が入らなかった。夏前に水泳部をやめた頃、何かが“プチッ”と切れた感じがした。友はいるが心を打ち明けられず、誰を頼ればいいのか分からなかった。この後テクラへ電話をしたが、私が求めていたのは、自信のない自分自身が受け入れてもらえる何かだったのかもしれない」と。

妊娠発覚後の面接経過の中で、父母のA子に対する関わりは徐々に変化した。母は戸惑いつつも妊娠の事実とA子の気持ちを受けとめようと努め、おしゃべりや料理を通して、母子間の関係を密にもった。又父も元々無口で不器用ながら、A子の思いに触れようと一歩近づいた。まだ越えるべき山は幾つかあるが、父母との関係が変化しつつある中、A子は無事出産した。子供については、悩んだ末里親に委託することになったが、A子は、束の間の授乳を通した触れ合いを時々思い出しているという。この後A子は、復学した。

〈考 察〉

A子の場合、テクラを通して会った男性とのセックスによる十代の妊娠ということで、性の問題が表面化した。一方食の面では医療機関等を訪れておらず、又状態としても極めて深刻という程ではない。しかし思春期に入った頃よりストレスが強まると苛々し過度に食べてしまう。又食べ始めるととまらなくなる等、不規則な食行動の繰り返しがみられていた。このようなA子の食と性は共に、大きな空虚感の穴埋め行動であると考えられる。

A子にみられるように、食と性は密接な関係がある。食と性は両者とも、人間にとり大切な行動の様式である。そしてまた両者とも、乳幼児期からの身近な人（主に母親）との関係性、具体的には授乳と吸乳・スキンシップ・感情交流等を通して育まれるものである。それ故、上記の関係性が十分かつ健康に育たない場合には、特に思春期においてあるいはそれ以降でも、食あるいは性等の問題行動として露呈されやすい。尚食の面では、はっきりした摂食障害とまではいかなくてもA子のような食の乱れは出やすい。表出された食の問題の裏には性の問題が含まれやすく、又その逆もあり得る。A子は、親との関係性における不安の表れとして身籠った。この為A子は、子供を手放すことを恐れていた。その後父母との関係性を取り戻せたことにより、A子は子供と離れることができ、又食の問題も治まった。

今後の治療の上で筆者は、食と性の関係性に視点を置いて携わる必要性を、改めて感じた。

会員の本の紹介

日赤医療センター 金子 和子

1997年に出版された会員の本を3冊出版順にご紹介します。始めの2冊は一月違いで出版されています。セックスレスが大きな問題になっているためでしょう。

この2冊が出版されたころ、阿部先生がテレビに出演されました。そこで日本性科学会のことを話された後しばらくは、セックスレスの相談をしたいとの電話が相次ぎ、事務局は悲鳴を上げたのですが、それもセックスレスに悩む人の多さを物語っています。

「セックスレス・カウンセリング」 阿部 輝 夫 小学館(1997. 6) A5版 220頁 定価1,500円

セックスレスという言葉は今の時代の特徴を非常によく表す言葉であるゆえに、非常に広く流布しています。そのため、これが阿部が使いだし、1991年に問題提起されたかなり新しい言葉だと知ると意外な気すらします。セックスレスという言葉の生みの親である阿部がセックスレス・カウンセリングというタイトルで書いた本ではありますが、書かれているのはセックスレスのことだけではありません。セックスレスの定義から始まり、さまざまな性機能障害やその治療、そこに見られる患者の心理等が豊富な症例を使って分かりやすく書かれています。患者さんたちの言葉をそのまま多く引用しているので、大変リアルで、患者さんたちの感じ方が浮き彫りになっています。性の問題を扱う人が必読であるばかりでなく、現代を知ろうとする人、人間を理解しようとする人にお薦めの一冊です。

ただひとつ気になったのは、妻のタイプが治療の成否をにぎるという項です。性的回避の男性の妻が大きく分けて3つのタイプに分かれ、タイプにより治療結果が異なるというのです。このこと自体はセックスセラピーをしている人ならだれでも頷くと思います。しかし、そうした妻を選ぶ男性の人格をも併せて考える必要がある旨も書いてほしかったのです。「夫の母にセックスレスだと伝えたら、『あなたが悪い。あなたが女らしくないからだ』と叱られてしまった。」と泣く妻たちが多いのです。この本を読んで、そうした姑さんたちが「ほら治らないのは、あなたのせいよ」と言わないか不安になったのは少々心配のし過ぎでしょうか。

それはともかく問題の本質を見抜き、適切な言葉で表現する阿部の能力に関心させられます。セックスレスという言葉がそれを示していますが、他にも女性の性障害の性嫌悪症、性交疼痛症、ワギニズムスを、性を拒否しているという根本をとらえて、3つあわせて拒性症と名付けたのには脱帽です。

「セックスレス・カップル」 奈良林 祥 あゆみ出版(1997. 7) A5版 240頁 定価1,500円

こちら性を通して人間が、時代が見えてくるという種類の本です。

家族計画から性の問題に入り、長い間性治療に携わってきた奈良林は、セックスレスを重篤な時代の病と見、セックスレスに象徴される性のありようを憂えています。しかしそれを大上段に振りかざして語るのではなく、人間が生まれてどのように性を育てていくのか、あるいはどのようにして育て損なって行くのか、そして育て損なうとどのような悲劇が待っているかなどを、平易な言葉で述べていきます。その語り口は、奈良林特有の軽妙洒脱な江戸弁で、まるで落語を聞いているような気になりますが、下手な心理学の本よりよほど分かりやすいのです。ことに、無意識の世界が果たす複雑な役割を、難解な専門用語を使わないで納得させてくれるのは見事です。奈良林が子供のころ、級友たちに、落語を語って聞かせていたというのがよく分かります。患者さんたちにとっても自分たちの問題を理解するのに役立つ一冊です。

「脳内セックス」 石 浜 淳 美 メディカ出版(1997. 12) A5版 140頁 1,600円

上記の2冊が性を臨床面から取り上げ、人間を、性を浮き彫りにしているのに対し、こちらは、性を、原点に戻って、行動をおこさせるものは何か、どのように人間の性行動は遂行されるのかを生理学的に取り上げているのです。そして最近の知見を織り交ぜながら、性は脳がつかさどり、性行動を起こさせるのが脳である故に、性機能障害を起こさせるのも脳であり、それへの対策も、脳を考えずには無意味であることを述べています。脳の話となると難しそうで敬遠したくなるのですが、石浜が一般の人に分かりやすくかいたというおとり、グラフや豊富に使用して丁寧に説明しているので、わかりやすくなっています。

例えば、セックスしたい脳とセックスする脳とは違い、セックスする脳は「動物の脳」といわれる脳幹であるのに対し、セックスしたい脳は大脳皮質であるために、テクノストレス等に犯されやすく、セックスレスが生じているのだとの説明には誰もが困難なく納得するでしょう。

そして石浜はセックスは性器ではなく、脳でするものだと意識改革が必要であると強く述べています。その意識改革こそが最大の性機能障害の治療の基本であり、これからの性教育の源でしょう。

第 18 回 日本性科学学会開催予告

第 18 回日本性科学学会総会ならびに学術講演会を下記のように予定しています。奮って御来沖下さいますよう御案内申し上げます。

期 日 平成 10 年 10 月 23 日（金）・24 日（土）
場 所 沖縄郵便貯金会館（メルパルク沖縄） 那覇市松川 20 TEL 098-887-5000
会 長 石 津 宏（琉球大学医学部精神衛生学教授）
メインテーマ 「性障害の Comprehensive Approach（包括的接近）－医学的，心理学的，社会文化的立場から－」

I. 特別講演（“性” は“脳” なり）

1. 「脳と性－男性」 熊本悦明（札幌医科大学泌尿器科名誉教授）
2. 「脳と性－女性」 玉田太朗（自治医科大学産婦人科名誉教授）

II. 会長講演 石 津 宏

III. 海外招聘特別講演 （マレーシアより招聘予定）

IV. 教育講演

V. パネルディスカッション「青少年の性－健全な性を目指して」

1. HIV 感染をいかに防ぐか
2. 援助交際をめぐる諸問題

VI. シンポジウム「性同一性障害をめぐる」

〔一般演題〕

締切 平成 10 年 7 月 31 日（金）

400 字以内の講演要旨をワープロにて記載し，下記宛お送り下さい。

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町上原 207 琉球大学医学部精神衛生学教室内
第 18 回日本性科学学会事務局 担当：與古田孝夫，謝花千秋
TEL：098-895-3331（内線）2653 FAX：098-895-2841

日本性科学連合「第 2 回性科学セミナー」

「The 2nd Conference of Sexology」Japan Federation of Sexology：JFS

日 時 1998 年 5 月 23 日（土） 午後 0 時 30 分～午後 4 時 30 分

会 場 国立公衆衛生院 講堂 東京都港区白金 4

主 催 日本性科学連合

後 援 日本家族計画協会／日本思春期学会／日本性科学会／日本性感染症学会／日本性機能学会／日本性教育協会

基本テーマ 『性と人権』

演 者 黒瀬忠生（東京都立本所高等学校）／高坂 哲（東京都リハビリテーション病院）／原田恵理子（東京都女性相談センター）／針間克己（東京家庭裁判所）／村松泰子（東京学芸大学）／根岸昌功（東京都立駒込病院）

受講料 5,000 円

定 員 300 名

申込方法 FAX か葉書で「JFS 第 2 回性科学セミナー参加希望」と書き，名前・住所・電話番号・専門分野・何で本セミナーをお知りになったかをお書き込みの上，下記宛にお申込みください。

受講料は当日受付にて受領します。なお，定員になり次第，締め切らせていただきます。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-11-4 宝文館ビル 6F NICS 内
日本性科学連合事務局宛 FAX 03-3288-5387

ご不明な点は事務局までお問い合わせ下さい。 TEL 03-3288-5200